

江戸川新橋のゆくえは？ 連載シリーズ その2

前号に引き続き、渋滞を解消すべく江戸川新橋（三郷と流山をむすぶ橋）の建設についてお話いたします。今回は江戸川新橋の先輩である松戸三郷有料道路（三郷と松戸を結ぶ橋）を取り上げ、参考にしてみましょう。

有料橋は採算がとれるの？

<松戸三郷有料道路のデータ>

車線	2車線（片側1車線）
建設費	80億円
通行料金	普通車 250円
開通日	昭和55年4月1日
無料開放	平成20年10月26日
交通量	1日あたり約1万台



要するに、工事費80億円を通行料によって回収していましたが、予定の30年を下回る28年で工事費を回収できたので無料にしたというものです。

<江戸川新橋のデータ（予想）>

車線	4車線（片側2車線）
交通量	1日2万台程度（予想）
建設費	200～300億円（予想）
負担者	幹線道路としての都市計画道路で建設費は国と県が折半して負担
通行料金・開通日	？

三郷市はお金をださなくてよいの？!! 本当です

上記データから読み取れることは

三郷市はお金をださなくてよいこと

ばくだいな建設費がかかりますが、交通量が多そうなので通行料金収入がかなり見込めそう

私の試算でも20～30年の間で利子を含めた建設費を回収できる

したがって、昨年の流行言葉でいえば、事業仕分け人によってもカットされない優良公共工事のはずだ・・・それなのに、なかなか建設されないのは、前号ご参照・・・。